

2次評価に向けた事前アンケート及び3次評価に向けた事前アンケート集計結果

資料1

※評価項目のうち「総合計画との整合」「利便性」「将来性」については、2次評価に向けた事前アンケートの結果を記載し、「経済性」「実現性」については、3次評価に向けた事前アンケートの結果を記載したものです。

【理由・備考欄の見方】

…各評価項目において優れていると評価した委員の数が最も多い候補地を色付け

黒字…優れていると思う理由等

赤字…デメリット・懸念等

候補地		評価項目		
		①中央公園	②金井一丁目地内	③JR烏山駅周辺
2次評価に向けた事前アンケート集計結果	総合計画との整合	優れていると評価した委員の数 <b>12</b> 理由 ・都市活動拠点エリア内に位置している等	優れていると評価した委員の数 <b>10</b> 理由 ・都市活動拠点エリア内に位置している等	優れていると評価した委員の数 <b>15</b> 理由 ・都市活動拠点エリア内に位置している等
	利便性	優れていると評価した委員の数 <b>12</b> 理由 ・各都市機能や他の官公署が徒歩圏内にある等	優れていると評価した委員の数 <b>7</b> 理由 ・各都市機能や他の官公署が徒歩圏内にある等	優れていると評価した委員の数 <b>14</b> 理由 ・各都市機能や他の官公署が徒歩圏内にある等 ・JR烏山駅、バス停が隣接等
	将来性	優れていると評価した委員の数 <b>9</b> 理由 ・既存の各種公共施設、官公庁、金融機関、商業施設の中心地に位置し、交流人口を創出する新たなシンボリック施設になり得る ・烏山駅と庁舎を結ぶ中心市街地活性化の拠点としても期待が高まる ・土地の広さを活用して、市民ホール等の付帯施設の集約も期待できる等	優れていると評価した委員の数 <b>7</b> 理由 ・JR烏山駅や既存各種施設との隣接性は比較的高く、コンパクトシティの実現に十分な立地 ・中心市街地にあるため、今後のコンパクトシティを軸にしたまちづくりの1つの拠点となる ・駅、高校、山あげ会館などと連携した事業ができる等 ・アクセスが集中した時の旧道の混雑が懸念される	優れていると評価した委員の数 <b>14</b> 理由 ・JR烏山駅と新庁舎を中心として周辺が整備されていけば、市民の利便性が向上するとともに、来訪者も増え、市の活性化も期待できる ・JR烏山駅直結という利点を生かし、本市の公共交通機関（電車・バス・デマンド交通・レンタサイクル等）のハブ（拠点）となる ・JR烏山線存続の存続対策として絶好の立地等
3次評価に向けた事前アンケート集計結果	経済性	優れていると評価した委員の数 <b>5</b> 理由 ・市有地が広い ・道路拡張が実現すれば南北動線整備の契機となり、市街地活性化を図れる ・他の候補地より事業費が高い ・道路拡張に費用がかさむ	優れていると評価した委員の数 <b>3</b> 理由 ・事業費が2番目に安い ・有利な財政支援措置の活用が見込める ・雨水排水先や構造によっては事業費増高が懸念される	優れていると評価した委員の数 <b>15</b> 理由 ・事業費が最も抑えられる ・道路整備費用がかからない ・有利な財政支援措置の活用が見込める
	実現性	優れていると評価した委員の数 <b>5</b> 理由 ・建物敷地は全て市有地 ・ラウンドアバウトの整備によりアプローチが改善される ・最低限の道路整備に留めれば、費用的にも実現性が高まる ・道路用地取得の見通しが不明 ・土砂災害警戒区域への道路計画は、構造的な不安が払しょくできない	優れていると評価した委員の数 <b>0</b> 理由 ・市道で敷地が分断されていることにより、効率的な土地利用や建物配置の阻害要因になるリスクがある ・民有地の用地取得の見通しが不透明	優れていると評価した委員の数 <b>15</b> 理由 ・民有地の用地取得の実現可能性がある ・整形の土地で効率的な都市計画が期待できる ・JR烏山線の利用向上策としても、市民の理解が得られやすい
	備考 (その他候補地に関するご意見)	・道路整備費用や南北に長い地形を考えると新庁舎の候補地としてはどうかと思うが、市有地であり、何かしらの活用を検討する必要がある ・防災拠点としての公園整備が望ましい ・急傾斜地に隣接する敷地環境や物理的に中心市街地の際という立地環境を勘案するに、市庁舎の立地には相応しくない	・活気あるまちづくりのグランドデザインを望んだとき、中長期計画での市有地化と有効な公共施設配置を期待したい ・周囲が住宅地で庁舎立地になじみなく、敷地が狭小で計画自由度が小さい ・他の候補地と比べて懸念となる点が多い ・建設は実現するかもしれないが、利用者（特に高齢者、障がい者）には不便感が出てくると思う	・存続が危ぶまれているJR烏山線の活性化と駅前周辺の賑わいの創出を考えると最適地と考える ・JR烏山線の存続、人口減少の歯止めを考えた場合、駅周辺にてワンストップであらゆる行政サービスが受けられるような施設配置を望む ・住民の意識の変化や多様な交通手段の組み合わせによって、地域全体で支える「持続可能な公共交通」が実現できる。JR烏山線の実情や住民ニーズに合わせ、新庁舎とコラボした公共交通の実現に期待する
優れていると評価した委員の数の合計		43	27	73